

令和 7 年第 3 回定例会
営業戦略農林水産委員会資料

	(頁)
1 諸般の報告	2
2 付託案件	9

令和 7 年 1 0 月 1 5 日
営 業 戦 略 部

1 諸般の報告

(1) 観光誘客の促進

① インバウンドの取組

ア インバウンドの状況

本県における令和6年の外国人延べ宿泊者数は、前年を上回り、過去最高を記録。

【本県の外国人延べ宿泊者数の推移】

(単位：人泊)

		R1	R5	R6 (確定値)
		217,410	237,960	277,530
茨城県	うち台湾	34,070	42,070	48,260
	うち韓国	10,890	20,960	34,110

出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

イ 重点市場等からの戦略的誘客促進

(1) 韓国

○観光ゴルフセミナー・商談会の開催

- ・内 容：韓国からの更なる旅行商品の造成促進を図るため、
現地旅行会社向けセミナー及び商談会を開催
- ・期 日：清州 令和7年7月2日（水）
ソウル 令和7年7月3日（木）
- ・場 所：エンフォードホテル（清州）
コリアナホテル（ソウル）
- ・参加者：現地旅行会社等 約60社（約80名）
県内事業者（ゴルフ場、宿泊施設、旅客運送業等）
12社（17名）

(2) 台湾

○台湾商談会の開催

- ・内 容：台湾からの更なる旅行商品の造成促進を図るため、
現地旅行会社と県内事業者との商談会を開催
- ・期 日：台北 令和7年9月2日（火）
高雄 令和7年9月3日（水）
- ・場 所：民生科技センター（台北）
高雄マリオットホテル（高雄）
- ・参加者：現地旅行会社等 約100社（約150名）
県内事業者（観光事業者、宿泊施設、旅客運送業等）
28社（40名）

② 茨城空港の状況

ア 令和7年度の旅客数について

令和7年4月から8月までの茨城空港の旅客数は、前年度同時期と比較し、5.9%増の約34万4千人。

【R7とR6の旅客数の比較（4月～8月）】※速報値

（単位：人）

	国内線			国際線			合計		
年度	R6	R7	R7/R6比	R6	R7	R7/R6比	R6	R7	R7/R6比
旅客数	297,400	307,231	103.3%	27,485	36,834	134.0%	324,885	344,065	105.9%

イ 令和7年度国内線冬ダイヤ

10月26日からの令和7年度国内線冬ダイヤにおいて、直行便の4路線8往復及び乗継便の長崎・鹿児島・宮古（下地島空港）を維持。

路線名	運航計画
札幌便（新千歳）	2往復/日
神戸便	3往復/日
福岡便	2往復/日
那覇便	1往復/日
長崎便	2往復/日 ※神戸乗継
鹿児島便	2往復/日 ※神戸乗継
宮古便（下地島）	1往復/日 ※神戸又は那覇乗継

ウ 令和7年度国際線冬ダイヤ

10月26日からの令和7年度国際線冬ダイヤにおいて、11月12日から韓国のソウルを結ぶ仁川便（定期便）が新たに就航予定。台北便は運休。

路線名（航空会社）	運航計画	運航状況
上海便（春秋航空）	3往復/週	R6/12/24～（運航再開）
チョンジュ 清州便（エアロK）	3往復/週	R7/5/15～（定期便）
仁川便（エアロK）	3往復/週	R7/11/12～（定期便）
台北便 （タイガーエア台湾）	—	R7/10/26～（運休）

エ 茨城空港発着チャーター便及び遊覧飛行の運航

フジドリームエアラインズ（FDA）により、チャーター便の運航や遊覧飛行を実施。

< 4月～9月までの運航実績 >

運航件数：6件

運航地：小牧（2件）、花巻・青森、岡山、小松、隠岐

< 10月以降の運航予定 >

運航件数：8件

運航地：山口宇部、小牧、小松、広島（3件）、松山、富士山周遊

オ 茨城空港における取組

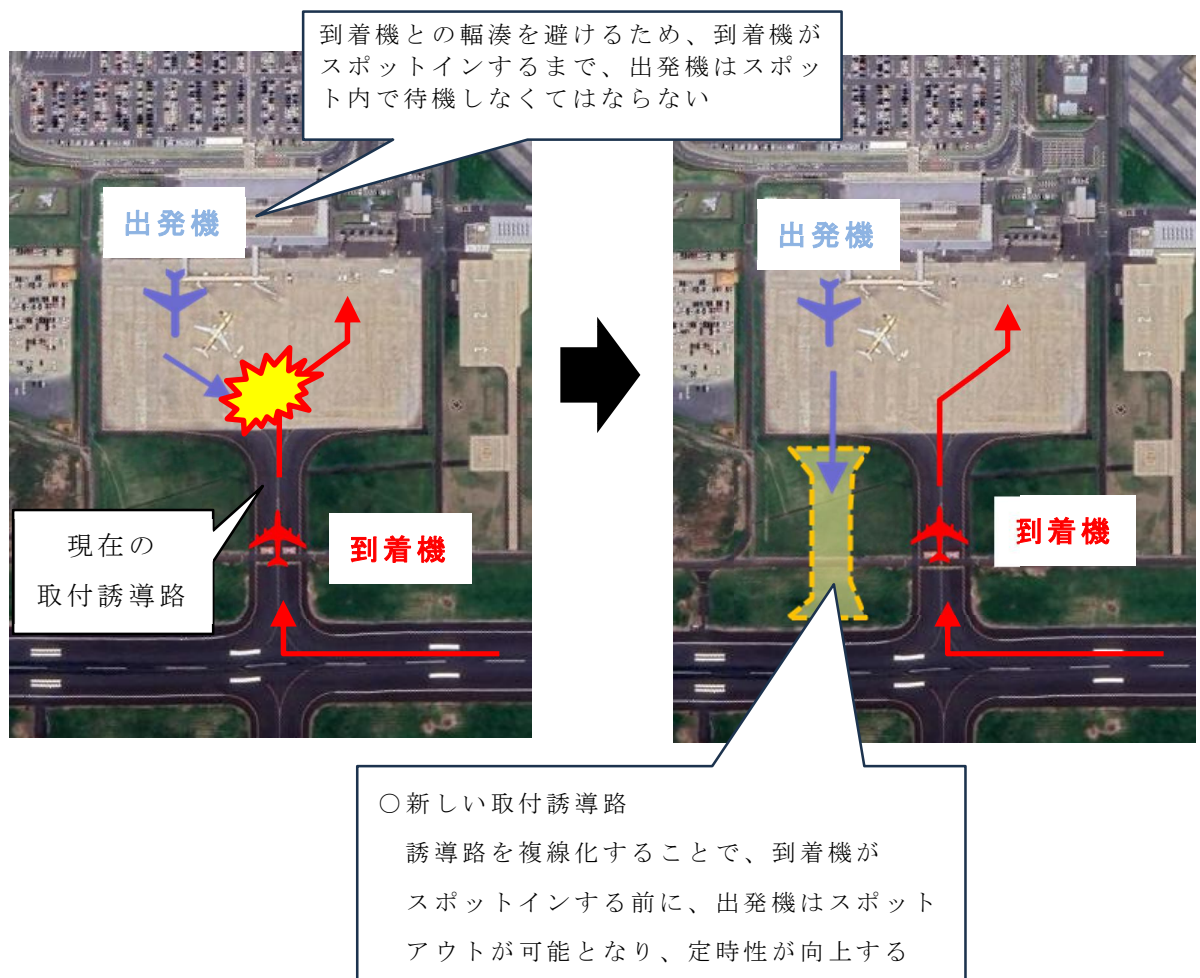
取付誘導路の複線化事業（事業主体：国土交通省）について、今年度から事業に着手し、現在、調査・設計を実施中。

【現状】

出発機と到着機が同じ1本の誘導路を使用

【複線化後】

出発動線と到着動線を分離



(2) プロモーションの展開

① VTuberを活用した若年層への魅力発信

VTuberグループ「にじさんじ」の人気ユニット「Idios（イディオス）」を起用し、いばキラTV等でのコラボレーション動画の配信と併せ、県アンテナショップ及び大子町駅前商店街を舞台とした誘客企画を展開。

【開催概要】

- ・ 名 称：にじいばジャーニー エピソードIdios
～夏の奥久慈ミッション～
- ・ 期 間：令和7年8月21日（木）～9月23日（火）
- ・ 内 容：○はじまりのカフェ ～IBARAKI sense～
オリジナルスイーツ・限定グッズ販売、店内装飾
○奥久慈ミッション ～大子町駅前商店街～
商店街周遊ステッカーラリー、等身大スタンディパネル設置
- ・ 主な実績：関連動画再生数 約23.2万回
企画参加者総数 約3,200人
SNS投稿・コメント等件数 約11.7万件



(3) ブランド化・販売促進の取組

① 「恵水」のPR

ア PRイベント

県オリジナル品種の梨「恵水」をPRするため、夏休みの自由研究を支援する企画として、恵水を研究するワークショップを開催。

【開催概要】

- ・ 期 日：令和7年8月28日（木）
- ・ 場 所：Six Gallery（東京都渋谷区）
- ・ 参加者：小学生 計34名
- ・ 内 容：顕微鏡を使用した細胞観察、和梨の歴史、食べ比べ、オリジナル梨ドリンク開発など
- ・ 配信露出：Live News days（フジテレビ）、Nスタ（TBS）等 100件

イ 「幻の恵水」プロジェクト

県と産地とが一丸となり、1万果に1果と言われる希少な「幻の恵水」の栽培に挑戦するプロジェクトを実施。

【販売価格】

- ・京橋千疋屋 10,800円/玉
令和7年9月10日（水）～1玉販売
- ・伊勢丹新宿店 10,800円/玉
令和7年9月13日（土）～1玉販売



恵水ワークショップの様子



京橋千疋屋にて1玉10,800円
で販売される「幻の恵水」

ウ 「恵水」の販売促進

- 京橋千疋屋における「特選恵水」、恵水パフェ等の販売
期 間：令和7年9月5日（金）～ 青果販売
令和7年9月12日（金）～ 恵水パフェの販売

- 有名フルーツタルト専門店「キルフェボン」での恵水タルトの販売
期 間：令和7年9月1日（月）～ 全12店舗で販売

- いばらきの梨 恵水スイーツフェア
期 間：令和7年9月1日（月）～ 9月14日（日）
開催店：県内洋菓子店、カフェ等9社19店舗

② 「常陸の輝き」のPR

ア PRイベント

常陸の輝きをはじめとした全国6産地のブランド豚のとんかつを食べ比べ、一般参加者等の投票でNo.1を決定する「とんかつ ベス豚グランプリ」を初開催。

【開催概要】

- 新宿会場
 - ・期 日：令和7年9月17日（水）
 - ・場 所：新宿三丁目テラス（東京都新宿区）

○有楽町会場

- ・期 日：令和7年9月24日（水）
- ・場 所：東京交通会館（東京都千代田区）

○丸の内会場

- ・期 日：令和7年9月30日（火）
- ・場 所：3×3Lab Future（東京都千代田区）

- ・内 容：約300名の一般参加者と特別審査員4名が6産地のブランド豚のトンカツを食べ比べ、美味しいと思ったトンカツに投票。最もトンカツに合う豚肉“ベス豚”を決定。
- ・特別審査員：有名シェフや食ジャーナリストなど4名
- ・メディア露出：Day Day(日本テレビ)、Live News days（フジテレビ）、NHK 等 189件 ※10月3日時点



実食審査に使用した6銘柄の
とんかつ弁当



表彰式の様子

イ 都内とんかつ店フェア

○都内有名とんかつ店舗を中心に「常陸の輝きとんかつフェア」を開催

- ・期 間：令和7年9月24日（水）～10月7日（火）
- ・開催店：10店舗

○「とんかつ ベス豚グランプリ」の結果を受けて、都内などのとんかつ店舗で「受賞記念 常陸の輝きとんかつフェア（仮）」を開催

- ・期 間：令和7年10月末～令和8年2月
- ・開催店：10店舗程度

③ 茨城をたべよう収穫祭～食の宝庫グルメセレクション～

県産農林水産物の更なる認知向上と販売促進を図るため、本県が誇る豊富な農林水産物を広く発信する“食”のイベントを都内で開催。

【開催概要】

- ・期 間：令和7年10月4日（土）、5日（日）
- ・場 所：駒沢オリンピック公園（東京都世田谷区）
- ・内 容：有名シェフコーナー、地元最強グルメコーナー、シン・いばらきメシコーナー、クラフトビールコーナー
- ・来場者数：約58,000人
- ・TV露出：グッド！モーニング（テレビ朝日）、大下容子ワイド！スクランブル（テレビ朝日）等 198件 ※10月7日時点



「茨城をたべよう収穫祭」開催風景

令和 7 年 9 月 30 日 開 会

①

令和 7 年第 3 回茨城県議会定例会議案

茨 城 県

第106号議案

県有財産の取得について

空港地上支援車両として、下記により県有財産を取得するものとする。

記

名 称	種 類	数 量	取得予定価格	取 得 先 住 所 氏 名
車 両	防 除 雪 氷 作 業 車	1 台	円 109,670,000	東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地 第一実業株式会社 代表取締役 船渡 雄司

令和 7 年 9 月 30 日提出

茨城県知事 大井川 和彦

令和 7 年第 3 回定例会
営業戦略農林水産委員会資料

(頁)

1	【諸般の報告】	米国による関税措置について	2
2	【諸般の報告】	観光誘客の促進について	5
3	【諸般の報告】	令和 6 年度フィルムコミッション 活動実績について	9
4	【付 託 案 件】	県有財産の取得について	10

令和 7 年 1 0 月 1 5 日
営 業 戦 略 部

項 目	米国による関税措置について
	9月8日～10日に実施した県内事業者等へのヒアリング調査の結果、引き続き多くの事業者が影響を注視する中、前回調査（5月末）と比較して影響の顕在化が進みつつあるものの、追加の借入を必要とするような深刻な状況には至っていない。 更なる影響の顕在化に備え、米国以外の販路開拓支援を継続するほか、省力化投資や生産性向上のための積極的な設備投資を後押しする融資制度を新たに設け、県内中小企業の稼ぐ力の向上を図る。 引き続き、状況を注視し、適宜、迅速に必要な対策を講じていく。 1 現在の対応状況 （１）米国による関税措置の影響に関する相談窓口の設置 ① 設 置 日：2025年4月4日 ② 専用電話番号：029-301-2674 ③ 相 談 時 間：平日の午前8時30分から午後5時15分まで ④ 設 置 場 所：産業政策課内 （２）事業者に対するヒアリング（第４回） ① 実施期日：2025年9月8日～10日 ② 調査対象：36社 県内で主に米国への輸出を手掛ける事業者等（下請け含む） ※製造業（自動車、建設機械、加工食品等）、農業（米、果物、畜産物等）など ③ 結 果： ア 関税措置の影響の有無 ・「まだわからない」が約4割（前回約3割） ・「マイナスの影響が出ている」が約3割（前回約2割） ・「今後、マイナスの影響が出る可能性がある」が約2割（前回約4割） ・「マイナスの影響は出ない見通し」が約1割（前回同様） イ 資金繰りへの影響（有効回答30社（約8割）） ・「影響なし」が約9割 ・「影響はあるが追加の借入までは不要」又は「不明」が約1割 ※前回と概ね同様 ウ 関税措置への今後の対応策 ・引き続き状況を注視している企業が多い一方、米国以外の他国や日本国内での販路開拓・拡大、価格転嫁を検討する企業もある。 エ 県への要望・求める支援 ・現時点では「特になし」との回答が多い一方、「輸出支援・市場開拓の支援」や「設備投資、生産効率の向上の支援」を求める声がある。 ※第1回（2025年4月7日～8日）、第2回（2025年4月21日～22日）、第3回（2025年5月28日～29日） （３）全国知事会による要請 ・米国による関税措置に関する提言（2025年7月23～24日全国知事会議にて採択） 日米関税交渉の合意を踏まえ、国において、中長期的な対策を速やかに示すとともに、関税措置等がもたらす影響の分析に取り組み、地方の産業や雇用への影響を最小限に抑える対策を講じていくこと、機会を捉えて関税措置の見直しを引き続き粘り強く求めることなどを提言。

2 支援制度等

(1) 資金繰り支援

① 中小企業向けの融資制度

売上が減少した中小企業が利用できるパワーアップ融資を設けているとともに、信用保証料補助を実施することで中小企業の負担軽減を図っている。

また、関税の影響の顕在化に備え、中小企業の稼ぐ力の向上を図るため、省力化投資や生産性向上のための積極的な設備投資を後押しする融資制度として、イノベーション投資促進融資を新設（10/1～申込受付開始）。

<パワーアップ融資の概要>

新規融資枠	190億円
融資要件	直近3か月の売上高等が前年同期に比べ5%以上減少している者 等
融資限度額	設備・運転・併用5,000万円
融資期間	設備 10年以内（据置3年以内） 運転・併用7年以内（据置2年以内）
融資利率	年1.9%以内
信用保証料	年1.9%以内→1.71%以内（県が1割補助）

<イノベーション投資促進融資の概要>

新規融資枠	70億円
融資要件	省力化投資や生産性向上のための設備投資等に取り組む者
融資限度額	設備1億円
融資期間	設備15年以内（据置3年以内）
融資利率	年2.0%以内
信用保証料	年1.9%以内→1.44%以内（県が2割補助）

② 農林漁業者向けの融資制度の例

（天候等自然条件に大きく影響を受ける）農林漁業者が社会経済情勢の変化に的確に対応するため、各種融資制度により、経営の安定化を支援している。

<融資制度の一例>

制度名	農業近代化資金 【農業】
制度概要	長期運転資金や農業機械・施設の取得など、幅広い事業に活用可能（農地取得を除く）。長期・低利。
借入限度額	個人1,800万円、法人2億円、農業参入法人1.5億円 等

(2) 販路開拓等

特に米国向けを主軸にしている事業者を対象に、相談対応や、別の国・地域での販路開拓支援などの必要なサポートを実施。

(支援事業の一例)

① 海外現地商流開拓専門家配置

販路開拓ノウハウとネットワークを有する現地専門家が、商品改良への助言や現地ニーズに基づく品目選定を実施し、スピード感のある営業活動により市場を開拓。

② 農産物海外市場開拓チャレンジ事業

本県輸出を牽引するかんしょ及びコメを中心に、新市場・新規国での新たな商流構築に向け、マーケティングやテスト販売等を実施。

③ 産地輸出支援事業

輸出にチャレンジする農業者を支援するため、海外における農林水産物の販売促進活動やプロモーション等を実施。

④ ものづくり海外展開推進事業

県内の「ものづくり中小企業」に対して、ドイツ・タイ・アメリカで開催される展示会への共同出展支援のほか、海外駐在や貿易実務などの経験豊富な専門家による伴走支援を実施。

⑤ いばらきチャレンジ基金事業

海外販路開拓を目的とした展示会への出展費用や外国語ウェブサイト制作、国際認証取得に要する費用の助成を通じ、県内の中小企業による新たな市場獲得に向けた海外販路開拓のチャレンジを支援。

【参 考】

○ 米国の関税措置の状況等

- ・2025年4月3日に発表された相互関税等について、7月23日に日米交渉の合意が公表され、8月7日に相互関税率15%、9月16日に自動車の追加関税率15%等が適用。（日米合意の概要）
 - ・相互関税率は15%（一般関税率（MFN税率）が15%以上の品目には適用なし）。
 - ※ 8月7日に遡って適用。
 - ・自動車・部品の関税は一般関税率（MFN税率）含め15%。
 - ・ミニマムアクセス米制度の枠内で輸入割合を増やす。

○ 本県農産物等の米国への輸出状況について

米国は、2024年度の国・地域別輸出額において、本県農産物で第4位、本県水産物・水産加工品で第2位の輸出先国であるなど、重要な市場となっている。

・2024年度 本県農産物の輸出実績上位5か国・地域

順位	国・地域	主な輸出品目	輸出額（百万円）
1位	タイ	かんしょ、常陸牛	972.1
2位	香港	鶏卵、コメ	638.0
3位	シンガポール	かんしょ、コメ	439.5
4位	米国	コメ、常陸牛	386.4
5位	カナダ	コメ、かんしょ、常陸牛	196.3

・2024年 本県水産物・水産加工品の輸出実績上位5か国・地域

順位	国・地域	主な輸出品目	輸出額（百万円）
1位	タイ	イワシ、シラス加工品	1,405.9
2位	米国	蒸しだこ、イカ加工品	1,171.6
3位	ベトナム	イワシ、サバ	595.8
4位	フィジー	イワシ	184.5
5位	オーストラリア	サバ加工品、イカ加工品	146.1

○ 本県における相談窓口設置状況（県以外）

- ・日本貿易振興機構（JETRO）（2月3日～）
- ・経済産業省（日本政策金融公庫、商工会議所等を含む）（4月3日～）
- ・常陽銀行（4月4日～）
- ・筑波銀行、茨城県信用組合、結城信用金庫（4月7日～）
- ・水戸信用金庫（4月8日～）

2 いばらきネクストツーリズム推進事業の実施状況

本県ならではのコンテンツを磨き上げ「珠玉の企画」として整備・販路開拓するとともに、「珠玉の企画」を対象としたプロモーション及び観光イメージの形成・ブランディングの推進に向けたキービジュアル・ブランディングサイト等の制作を行い「稼げる観光地域づくり」を促進する。

(1) 予算額

165,550千円（令和7年度当初、うち物価高騰重点交付金55,000千円・国10/10、新地方創生交付金110,550千円・国1/2）

(2) 事業内容

ア 差別化コンテンツの確立（差別化コンテンツ確立事業、委託：55,000千円）

本県ならではのコンテンツの差別化に係る磨き上げ、販売強化

○国内外に訴求可能な「珠玉の企画」の磨き上げ、インバウンド等受入環境整備、販路開拓

○伴走支援等による自走化・定着化

＜珠玉の企画について＞

ツアー名称・販売料金	催行日	主催	概要
いばらきを堪能国営ひたち海浜公園「コキア花絶景周遊ツアー」 14,800円(税込)/人～	10月17日 国内・台湾向け 10月24日 国内・韓国向け	株式会社 日本旅行 ほか	早朝入園でコキアを鑑賞した後、茨城ならではの体験や食事を堪能する1泊2日プラン
いばらきフラワーパークローズファーム・リトリートステイ 93,600円(税込)/人～	10、12、1月の金土日、全6日程	いばらき フラワー パーク	フローリストが贅沢に装飾した「花やさと山」の特別な部屋に宿泊する1泊2日プラン
陶芸作家Keicondoの世界にふれる、笠間の滞在型アートトリップ 16,500円(税込)/人～	通年予約可 (keicondo氏在廊時)	keicondo	台湾で人気のkeicondo氏の宿「OBRA s」に宿泊し、本人と交流できる1泊2日プラン
結城のまちで暮らすように旅する結城紬で彩るまちなか特別体験 46,200円(税込)/人～	通年予約可	(一社) MUSUBITO	古民家「HOTEL (TEN)」に宿泊し、結城紬の着物で街歩きなどの体験を味わえる1泊2日プラン

イ 観光イメージの形成・ブランディングの推進（いばらきネクストツーリズム推進事業プロモーション業務、委託：69,993千円、いばらき観光キャンペーン推進協議会への負担金：25,000千円）

差別化コンテンツを対象とした集中プロモーションを展開

○本県観光のブランディングに向けたキービジュアル等の制作

○民間企業、インフルエンサー等とのタイアップ

○ターゲットに応じた広告・広報の展開

<キービジュアル等の展開について>

- ・アニメ『薬屋のひとりごと（※）』とコラボしたキービジュアル・ブランディングサイト、コラボムービーを公開（8月1日～）



- ・県広報紙「ひばり」9月号表紙掲載
- ・9月からの1か月間、全国のJ R主要駅（700駅以上）にアニメとコラボした全5種類のポスターを掲出
- ・10月25日（土）から県内各地10か所を巡るコラボスタンプラリーを開催

【※参考】TVアニメ『薬屋のひとりごと』について

- ・架空の中華風帝国を舞台に薬師（くすし）の猫猫（マオマオ）が様々な難事件を解決していく謎解きエンターテインメント。
- ・2023年～2024年に第一期、2025年に第二期が日本テレビ系列で放送され、続編の制作も決定している。
- ・各種動画配信サイトにて国内外で配信されており、台湾や韓国、中国でも視聴ランキングトップ10に入るほか、北米最大のアニメコンベンション「Anime Expo2025」では出演声優が登壇するイベントに現地ファン2,000人が参加する等、幅広い国と地域で人気を博している。
- ・国内では「TikTok上半期トレンド大賞2025」で大賞とマンガ・アニメ部門をダブル受賞する等、注目度の高い作品。

ウ 観光PDCAの展開（茨城観光PDCA確立事業、委託：15,550千円）

- 民間データの活用によりトレンドや強み等を把握し、県内観光のPDCAを展開し、観光戦略の立案や観光施策へ反映

<実施中の調査について>

- ・モバイル空間統計調査：
訪日外国人の県内への「宿泊者数」、「日帰り客数」を国籍別、市町村別に市町村単位で把握する調査。

- ・ SNS調査：

旅行の情報源であるソーシャルメディア（YouTube、Instagram、X等）、旅行口コミサイト、旅行関連ブログ等を茨城県内の観光地点のキーワードをもとに分析し、茨城県内における訪日外国人及び国内観光客の体験や関心を把握する調査。

- ・ 消費動向調査：

WEBアンケートを通じて、過去に県内への来訪経験がある日本人2,000人を対象に、「訪問先」、「旅行消費額」、「交通手段」等を把握する調査。

3 IBARAKI CAMP AUTUMN FESTA 2025の開催

本県の観光資源のひとつであるアウトドアをテーマとした誘客促進を図るため、キャンプイベントを開催し、本県の魅力をPRする。

【開催概要】

日 時：令和7年10月25日（土）・26日（日）

場 所：涸沼自然公園キャンプ場（茨城町）

内 容：飲食・体験・物販等のブース出店（約100事業者）、県内キャンプ場と連携したキャンプ泊プランの提供等

提出議案（条例は除く）の概要

営業戦略部空港対策課

議案の名称	県有財産の取得について
1 取得価格	109,670千円
2 現況・課題	航空機が離陸するためには、機体に付着した雪氷を除却する必要がある。雪氷を除却するための液体を機体へ噴霧する防除雪氷作業車（デアイシングカー）は、平成22年に導入し、耐用年数の目安となる15年以上が経過しており、車両の老朽化が著しく、故障が頻発している。
3 必要性・ねらい	防除雪氷作業車が故障により、使用できない場合、離陸に必要な雪氷の除却作業が行えず、欠航となってしまう。確実に防除雪氷作業を行うため、新しく車両を取得する必要がある。
4 内 容	【取得する財産】 (1) 物品の名称 防除雪氷作業車（デアイシングカー） 1台 (2) 取得価格 109,670,000円 (3) 取得先 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 第一実業株式会社 代表取締役 船渡 雄司 (4) 納入時期（予定） 令和9年3月 (5) 設置箇所 茨城空港内
5 参考事項	○防除雪氷作業車（デアイシングカー）の概要  ・航空機の離陸前に、翼や胴体に薬液を塗布し、防・除雪を行う車両 ・航空機は、翼などに雪が付着している場合、浮力が得られないため、離陸が認められない

営業戦略部資料 3

令和 7 年第 3 回定例会 営業戦略農林水産委員会資料
県出資法人 事業実績・事業計画の概要

(頁)

- 1 公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構 …… 2

令和 7 年 1 0 月 1 5 日
営 業 戦 略 部

県出資法人 事業実績・事業計画の概要

販売戦略課

1 出資法人の概要

① 法人の名称	公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構																										
② 所在地	茨城県水戸市桜川二丁目2-35																										
③ 設立年月日	令和2年4月1日																										
④ 代表者名	理事長 岩下 泰善																										
⑤ 基本財産	38,000千円																										
⑥ 設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第44条																										
⑦ 設立目的・経緯	県内中小企業の海外展開、経営革新及び創業の促進や経営基盤の強化に関する事業を行い、もって茨城県の産業の振興に寄与する。 （令和2年4月1日に一般財団法人として設立 同年7月1日公益財団法人化 同年8月1日茨城県中小企業振興公社を吸収合併）																										
⑧ 組織	役職員数	理事 11 人	監事 2 人 常勤職員 21 人 (うち県職員派遣 1 名)																								
	<組織図> 理事長 — 専務理事 — 常務理事兼事務局長 — 総務企画課（4名）※課長含む (副知事) (公募採用) (県OB) 事務局次長 — グローバル展開一課（6名）※課長含む、うち1名ジェトロ出向中 (県現役派遣) [農産物・加工品] グローバリ展開二課（10名）※課長含む、うち1名金融機関派遣 [工業製品]																										
⑨ 出資状況	38,000 千円（茨城県が全額出資）																										
⑩ 資産状況 (令和7年3月末現在)	(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流動資産</td> <td>301,815</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td>7,810,839</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資産合計</td> <td>8,112,654</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td>262,136</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td>6,194,533</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負債合計</td> <td>6,456,669</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正味財産</td> <td>1,655,985</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				金 額	摘 要	流動資産	301,815		固定資産	7,810,839		資産合計	8,112,654		流動負債	262,136		固定負債	6,194,533		負債合計	6,456,669		正味財産	1,655,985	
	金 額	摘 要																									
流動資産	301,815																										
固定資産	7,810,839																										
資産合計	8,112,654																										
流動負債	262,136																										
固定負債	6,194,533																										
負債合計	6,456,669																										
正味財産	1,655,985																										

2 令和6年度事業実績

(1) 事業内容

ア いばらきグローバルビジネス推進事業

食品分野の中小企業等の海外展開を促進するため、海外展開推進員による支援や展示商談会を実施した。

- ・海外での販路開拓支援：成約162件、年間取引額427,679千円
- ・展示商談会への出展支援：4回
- ・貿易、投資相談件数：131件

イ ものづくり海外展開推進事業

ものづくり企業の海外展開を支援するため、大規模展示会への共同出展支援のほか、マッチング企業の掘り起こしや戦略策定等の伴走支援を実施した。

- ・海外での販路開拓支援：成約13件、年間取引額154,520千円
- ・展示商談会への出展支援：2回
- ・貿易、投資相談件数：9件

ウ いばらきチャレンジ基金事業

本県産業を持続的に発展させるため、中小企業が行う新技術・新製品開発や海外販路開拓の取組を支援した。

- ・新技術・新製品開発促進事業（複数年型）：3件
- ・新技術・新製品開発促進事業（単年度型）：10件
- ・海外販路開拓促進事業：21件

エ 中小企業エキスパート派遣事業

中小企業等が抱える経営・技術等の課題に対して、専門家（中小企業診断士、管理技術、設計技術等の専門家）を派遣して課題解決を支援した。

- ・専門家（エキスパート）の派遣日数：645日（派遣案件：91件）

オ よろず支援拠点事業

機構内に「茨城県よろず支援拠点」を設置し、経営相談に対して総合的な支援を行うとともに、関係機関との連携による研修会や各種セミナーを開催した。

- ・相談対応件数：15,191件
- ・ミニセミナー・相談会等の開催：44回

カ ものづくり産業マッチング支援事業※県内産業支援機関に外部委託

中小企業の受注機会の拡大を図るため、取引のあっせんや商談会等を実施した。

- ・あっせん件数：743件、成立件数：69件（年間受注金額：725,173千円）

キ 中小企業情報発信事業

国、県等の中小企業支援策等の情報提供を行ったほか、受発注情報等の発信、自社のPR等を支援するオンライン上の「茨城県企業データベース」の活用促進を図った。

- ・茨城県企業データベースの登録件数：1,980件
- ・相談窓口での企業・支援機関、支援施策等に関する情報提供：349件

(2) 収支状況

(単位：千円)

	金 額	摘 要
基本財産運用益	39	
受取補助金等	587,236	
受取負担金	7,895	
その他の収入	11,571	
経常収益計①	606,741	
事業費	531,116	
管理費	69,836	
経常費用計②	600,952	
当期経常増減額③ (①-②)	5,789	
経常外収益計④	0	
経常外費用計⑤	0	
当期経常外増減額⑥ (④-⑤)	0	
法人税等⑦	0	
当期一般正味財産増減額 (当期利益)⑧ (③+⑥-⑦)	5,789	
正味財産期首残高⑨	1,640,230	
当期指定正味財産増減額 ⑩	9,966	
正味財産期末残高⑪ (⑧+⑨+⑩)	1,655,985	

※端数処理の関係で内訳と合計等が一致しない場合がある。

(3) 補助金等の受入状況

(単位：千円)

	金 額	摘 要
出 資 金	0	
補 助 金	311,685	県補助金
受 託 金	116,871	県受託金
貸 付 金	0	
損失補償限度額 年度末残高	0	

3 令和7年度事業計画

(1) 事業内容

ア いばらきグローバルビジネス推進事業

海外展開にチャレンジする食品分野の中小企業に対し、海外展開推進員による伴走支援、展示商談会への出展、海外展開に関する相談対応や海外展開セミナー等の実施により総合的に支援する。

- ・海外展開推進員の配置（3人）
- ・展示商談会への出展支援（5回程度）
- ・貿易投資相談（随時）
- ・海外展開セミナーの開催（4回）

イ ものづくり海外展開推進事業

海外展開にチャレンジするものづくり分野の中小企業に対し、海外展開推進員による伴走支援や大規模展示商談会県ブースへの共同出展、海外展開の普及啓発セミナーの実施等により総合的に支援する。

- ・海外展開推進員の配置（4人）
- ・展示商談会への出展支援（3回程度）
- ・海外情報発信の強化（随時）
- ・海外展開セミナーの開催（2回程度）

ウ いばらきチャレンジ基金事業

本県産業を持続的に発展させるため、中小企業が行う海外販路開拓の取組や新技術・新製品開発を支援する。

- ・海外販路開拓促進事業 : 20件程度
- ・外国語ウェブサイト制作事業 : 10件程度
- ・国際認証取得事業 : 4件程度
- ・新技術・新製品開発促進事業（単年度型）: 4件程度
- ・新技術・新製品開発促進事業（複数年型）: 4件程度

エ 中小企業エキスパート派遣事業

中小企業等が抱える経営・技術等の課題に対して、専門家（中小企業診断士、管理技術、設計技術等の専門家）を派遣して課題解決を支援する。

- ・専門家（エキスパート）の派遣日数（640日）

オ よろず支援拠点事業

「茨城県よろず支援拠点」を機構内に設置し、中小企業者等の経営相談に対してワンストップで対応するとともに、支援機関・専門家等の連携体制の強化、能力向上を図る。さらに、成長志向企業に対する伴走支援を実施する。

- ・コーディネーター等の配置（35人）
- ・支援機関・専門家等との連携体制の強化
（連携フォーラム（1回）、連携パートナー研修会（1回））
- ・成長志向企業への伴走支援（随時）

カ ものづくり産業マッチング支援事業※県内産業支援機関に外部委託

受発注情報の収集と取引のあっせんを実施するとともに、県内外の発注企業及び県内進出企業からの情報収集を継続的に実施することにより、発注企業のニーズ把握や発注案件の開拓を行う。

- ・広域商談会の開催（1回）
- ・取引紹介あっせん（随時）
- ・受発注取引促進のための調査及び情報収集（3回）

(2) 収支計画

(単位：千円)

	金 額	摘 要
基本財産運用益	37	
受取負担金	7,929	
受取補助金等	679,773	
事業収益	0	
その他の収入	21,446	
経常収益計①	709,185	
事業費	629,020	
管理費	79,068	
経常費用計②	708,088	
当期経常増減額③ (①-②)	1,097	
経常外収益計④	0	
経常外費用計⑤	0	
当期経常外増減額⑥ (④-⑤)	0	
法人税等⑦	0	
当期一般正味財産増減額 (当期利益)⑧ (③+⑥-⑦)	1,097	
正味財産期首残高⑨	1,648,920	
当期指定正味財産増減額 ⑩	△438	
正味財産期末残高⑪ (⑧+⑨+⑩)	1,649,579	

(3) 補助金等の受入予定

(単位：千円)

	金 額	摘 要
出 資 金	0	
補 助 金	330,674	県補助金
受 託 金	151,680	県受託金
貸 付 金	0	
損失補償限度額 年度末残高	0	